

ベースボール5を活用した学び合う体育授業の実践と検証

[はじめに]

本研究は、新興スポーツである「ベースボール5 (Baseball 5)」を中学校第1学年の体育授業に導入し、生徒が協働的に学ぶ授業づくりを実践とその効果を検証することを目的とする。この競技の最大の特徴は「ボール1つでどこでもできる」シンプルさと、男女混合で行うルール構成にある。21メートル四方のプレイエリアがあれば屋内外を問わず実施でき、野球やソフトボールに比べて運動経験・体格差・性別によるハンディが小さい。そのため、体育の授業において全ての生徒が参加しやすいスポーツである。また、チームワークや戦術的思考を必要とする競技構造は、学級全体の一体感や相互理解を深める教材としての可能性を有している。一方で、学校現場における実践研究はまだ少なく、特に中学校段階での指導法や学びの効果に関する知見は限られている。そこで本研究では、ベースボール5を用いた体育授業の実践を通じて得られた知見を報告する。

[ベースボール5の概要]

公式ルールと授業内でのルール概要を表1に、コート図を図1に示した。本研究では、Baseball 5の公式ルールを基に、中学校体育授業の実践に適した形へと調整した授業ルールを用いた。

授業ルールでは、安全性と運営の円滑さを考慮し、1チーム9人とした。試合は時間制で行い、3アウトごとに攻守を交代し、後攻の攻撃が終了した時点の得点で勝敗を決定した。守備においてはグローブの使用を任意とし、ポジションは一塁手、二塁手、三塁手、遊撃手、ミッドフィルダー2人の計6人で構成した。攻撃では、手のひらまたは拳でボールを打ち、ノーヒットゾーンやファウルゾーンへの打撃、あるいは空振りを合わせて3回行うとアウトとなるルールを採用した。

このように、授業ルールは公式ルールの基本的な枠組みを保持しつつ、安全性や運営のしやすさを重視して、生徒とともに検討・構成したものである。

なお、本研究では世界野球ソフトボール連盟 (WBSC) 公認球を使用した。テニスボールとほぼ同じ大きさで、テニスボールより約20g重い、ゴム製の弾力があるものを用いた。

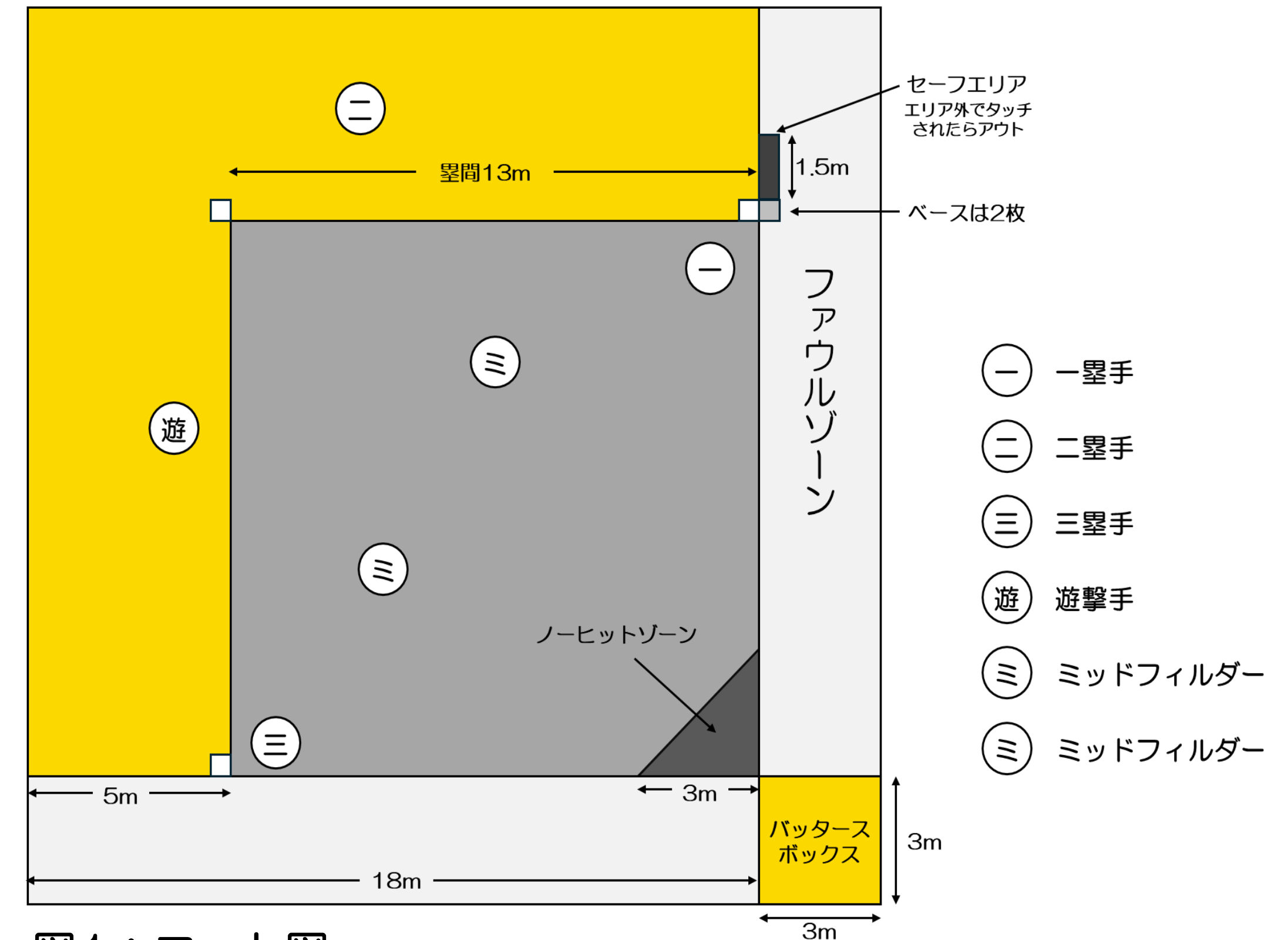


図1: コート図

表1: ルールの概要

公式ルールの概要	授業ルールの概要
◇基本ルール <ul style="list-style-type: none"> 5人制、「男子3人、女子2人」もしくは「男子2人、女子3人」 ピッチャー、キャッチャーは存在しない 5イニング (3アウト) 	◇基本ルール <ul style="list-style-type: none"> 1チーム9人制、「男子5人、女子4人」もしくは「男子4人、女子5人」 ピッチャー、キャッチャーは存在しない 時間制 3アウト交代 後攻の攻撃が終わっている回までの得点で勝敗を決める
◇ディフェンス (守備) <ul style="list-style-type: none"> グローブは使用せず、素手でキャッチする ポジションは、一塁手、二塁手、三塁手、遊撃手、ミッドフィルダー 	◇ディフェンス (守備) <ul style="list-style-type: none"> グローブは使用は任意で、素手でもよい ポジションは、一塁手、二塁手、三塁手、遊撃手、ミッドフィルダー (2人) の6人
◇オフェンス (攻撃) <ul style="list-style-type: none"> バットは使用せず、手のひらまたは拳でボールを打つ ノーヒットゾーンへの打撃やホームランはアウト ランナーを一塁→二塁→三塁と進め、ホームに返せば1点獲得 	◇オフェンス (攻撃) <ul style="list-style-type: none"> バットは使用せず、手のひらまたは拳でボールを打つ ホームランはアウト ノーヒットゾーンやファウルゾーンへの打撃、または空振りのいずれかを合計して3回するとアウト ランナーを一塁→二塁→三塁と進め、ホームに返せば1点獲得

[授業の実践]

対象者: 大阪教育大学附属天王寺中学校第1学年2クラス

男子37名、女子35名の計72名

実施期間: 令和6年11月26日から令和6年12月9日まで

学習形態: 男女共習

単元配当時間: 50分×7時間

授業の流れ

第1時	オリエンテーリング、キャッチボール
第2時	キャッチボール、打撃練習
第3～5時	チーム練習、ゲーム形式でルール理解を深める
第6時	教室内でチーム作戦会議 (図3) (打順、ポジション、チーム練習の内容など)
第7時	チーム練習、まとめのゲーム

チーム内で役割を定めチーム活動を中心に授業を展開した。役割は「リーダー」「副リーダー」「用具」「コーチ」「記録」の5つである。各役割の仕事内容を表2に示した。

表2: チーム内役割の仕事内容

リーダー	全体のまとめ役
副リーダー	出欠・遅刻の確認・報告、ミーティングの司会
用具	道具の準備・片付けの主任
コーチ	準備体操、練習メニューおよび作戦の考案の主任
記録	練習・試合記録用紙の記録、時間管理の主任



図2: 試合の様子



図3: 第6時
チーム作戦会議の様子

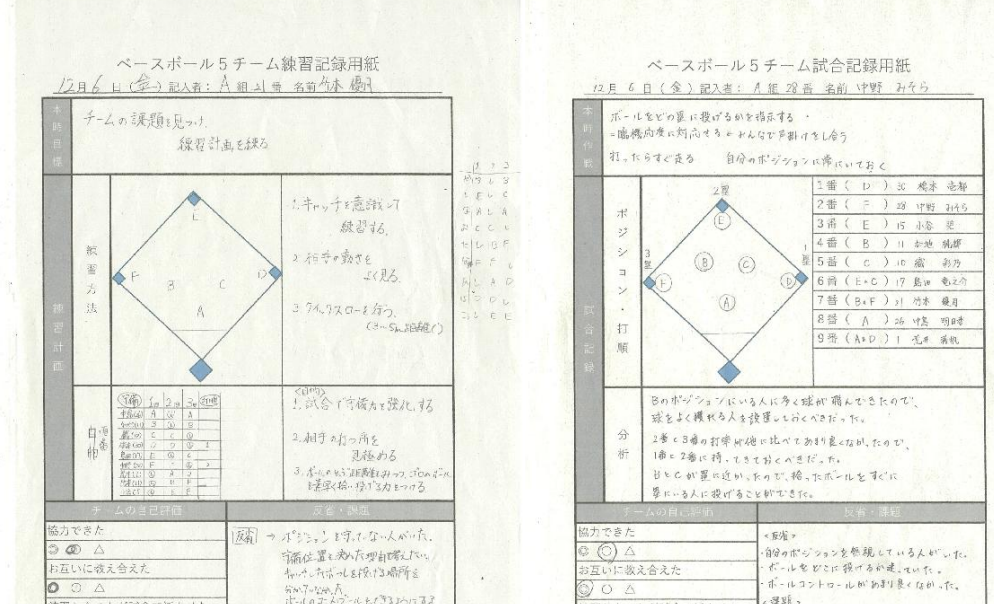


図4: 練習・試合記録用紙

[成果と課題]

授業後のアンケートから得られた成果と課題

成果

高い学習満足度が得られた。「実際にベースボール5を行ってみてどうでしたか?」という質問に対し、全体の93%の生徒が「楽しかった」「まずまず楽しかった」と回答しており、多くの生徒がベースボール5の授業を肯定的に受け止めていた。(図5)

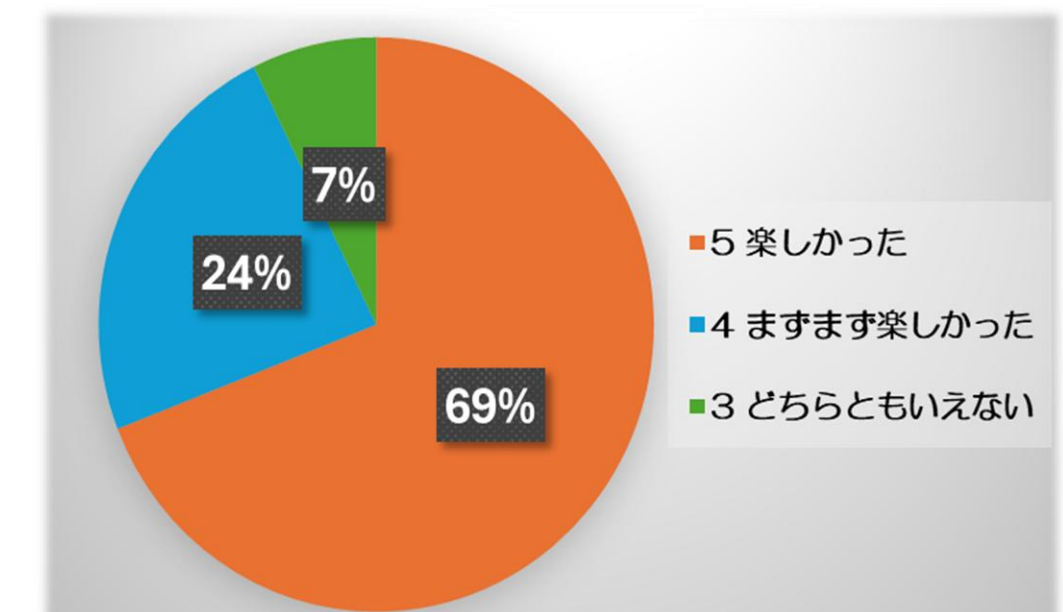


図5: アンケートの結果

誰もが楽しめる教材としての有効性が示された。バットなどの専門的な用具を使わないため、運動が得意・不得意に関わらず参加しやすいという意見が見られた。協働的な学びが促進された。チームで作戦を考えたり、役割を分担したりする中で仲間と協力する楽しさや戦略性の面白さを感じた生徒が多く、協働学習の観点からも効果が見られた。

課題

ルール理解の難しさが一部に見られた。「もう少しルールが簡単だと良い」「瞬時の判断が難しかった」という意見があり、初心者にも分かりやすい段階的なルール導入が求められる。用具への期待の違い。「バットを使って打ちたかった」という意見もあり、従来の野球との違いに物足りなさを感じた生徒もいた。活動の目的や特徴を事前に理解させる工夫が必要である。

[まとめ]

ベースボール5は、簡易な用具で多くの人が楽しめる新しい球技教材として有効であることが確認できた。一方で、ルール理解や球技特性への慣れを支援する指導の工夫が今後の課題として挙げられた。

[引用・参考文献]

WHAT IS BASEBALL5 ベースボール・ファイブ競技説明 発行: 一般財団法人全日本野球協会 BASEBALL5 JAPAN 事務局 2023年3月14日
性別を問わないアーバンスポーツ「ベースボール5」の提案 体育科教育 発行: 大修館書店 2024年9月1日